



地球温暖化、京都議定書、私たちにできること

グリーン・フォワード 船津寛和 <http://www.greenforward.org/>

さて、連載最終回の「私たちにできること」です。

これまで、地球規模の温暖化（気候変動）や、国際的な取り決めについてご紹介してきましたが、私たち一般の生活者にできることは何でしょうか？

一つの重要な視点は「システム」を変えるというものです。

私たち一人一人の力は小さくとも、明確な目的をもってベクトルを合わせれば、大きな力となります。

一般的に奨励されている「エコライフ」から、一步踏み出すことが必要です。

が、決して難しいことはなく、コストもかからないものばかりです。

事実を知ること。

単に環境破壊の現状だけでなく、私たちの生活と世界のつながりを知ること。

その原因を考えるうえでも、制度や政策を知ることが重要です。（化石燃料には莫大な補助金があり、自然エネルギーには無いことなど）

また、海外の制度を知るとは勇気付けられることでもあります。（炭素税など）

広い意味でのグリーン購入。

高効率の家電を購入することは、単なる節電以上に CO2 削減効果があります。

また、グリーン商品を購入することは、そのメーカーを応援することになり、逆にネガティブな商品を購入しないことは消費者としてのメッセージを伝えることになります。

食べ物では地産地消や旬のもの、オーガニックなものを選ぶこと、マイカーではなく公共交通機関を選ぶこと、も含まれます。

私たち消費者は非常に大きな力を持っています。メーカーや小売店は、私たちの多くが購入するものを販売しているのです。

私たちが消費を変えれば、生産 / 流通も変わります。

また預貯金についても金融機関を選ぶことが可能です。

NPO や NGO の活動を支える。

寄付などにより資金面から支えることも可能ですし、ボランティアとして実際の運営を支えることができます。NGO が主催する各種キャンペーンに参加することも力となります。

周りに知らせる、意見を伝える。

家族や友人など身近な人はもちろん、メディアに訴える。新聞などへの投書のほか、良いドキュメンタリー番組を見たら、感謝と応援のメールを送ってみましょう。

同じく、企業に働きかけることもよいでしょう。（ネガティブ / ポジティブ両面で）

また、国や地方自治体の行政もたびたびパブリックコメントの募集をしています。簡単に一言でも結構です。気軽にコメントしてみましょう。

適切な政策決定者を選ぶ。

選挙 / 投票に行きましょう。まずは投票率を上げることにより、国民の目があることを政策決定者に強く意識してもらいましょう。

今日から実践できることばかりですね。私たちの行動が明日の世界を形作ります。

